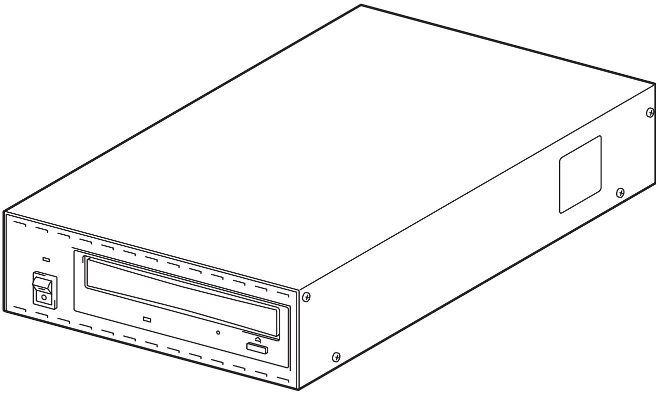
NEC

RVL-R WRITER
取扱説明書
User's Guide



E2A-018140-001
4-2006

目　次/Table of Contents

日本語版

安全にかかわる表示 3
安全にお使いいただくために 4
　警告ラベルについて 4
　安全上のご注意 4
ご使用について 6
　本製品の設置に適した場所 6
　本製品の近くに置いては
　いけないもの 6
　本製品を使うときのご注意 6
はじめに 7
箱の中身を確認する 8
各部の名称と機能 9
セットアップ 10
　設　置 10
　電源コードの接続 10
　コンピュータへの接続 11
　ギャング書き込み 11
ライティングソフトウェアの使い方 ... 12
　ソフトウェアの入手とインストール /
　アンインストール 12
　GUI 版 13
　　起動と終了 13
　　画面説明 13
　　書き込みについて 15
　　ベリファイについて 16
　　注意事項 16
　CUI 版 17
　　起動と終了 17
　　形式とコマンド一覧 17
　　戻り値一覧 19
　　画面説明 19
　　注意事項 21
お手入れ 22
トラブルシューティング 23
仕　様 24

English

Safety Indications 25
Safety Notes 26
　Warning Labels 26
　Safety Precautions 26
Notes on Use 28
Preface 29
Check of Components in Package ... 30
Names and Features of
　Components 31
Setup 32
　Installation 32
　Connecting Power Cord 32
　Connecting with Computer 33
　Gang Writing 33
Using Writing Software 34
　Obtaining, Installing, and
　Uninstalling Software 34
　GUI Edition 34
　　Starting and Exiting
　　Software 34
　　Menus 35
　　Writing 37
　　Verify 38
　　Precautions 38
　CUI Edition 39
　　Starting and Exiting
　　Software 39
　　Format and Commands 39
　　Return Value 41
　　Explanation of Screen 41
　　Precautions 43
Cleaning 44
Troubleshooting 45
Specification 46

この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

本書では製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。

⚠ 警告	指示を守らないと、<u>人が死亡する、または重傷</u>を負うおそれがあることを示します。
⚠ 注意	指示を守らないと、<u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u>の発生のおそれがあることを示します。

また、危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	レーザ光による失明のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。感電や発火のおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

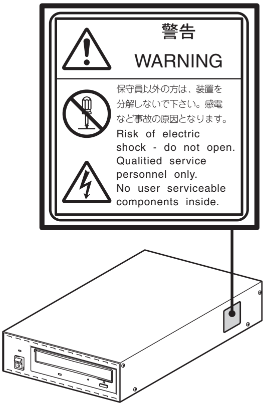
	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。

安全にお使いいただくために

ここで示す注意事項は本製品を安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、本製品をより安全にご活用ください。記号の説明については、「安全にかかわる表示」(3 ページ)を参照してください。

警告ラベルについて

本製品内の危険性を秘める部品やその周辺には、警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら、販売店までご連絡ください。
事故が発生した場合はすぐに販売店まで連絡してください。そのまま使うことのないようにしてください。



安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項をお守りください。

⚠ 警告

本体のすき間から内部をのぞき込まない

内部のレーザ光を直視すると、視力障害を起こすおそれがあります。

分解・修理・改造はしない

ネジで留められているカバー類を外さないでください。また本製品を分解・修理・改造しないでください。誤動作の原因となるばかりでなく、感電、火傷、けがのおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら使わない

万一、発熱、煙、異臭、異音が発生したら、すぐに電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電や火災のおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注 意

ぬれた手で本製品や電源コードを触らない

ぬれた手で本製品や電源コードを触らないでください。感電するおそれがあります。

お手入れの際は電源をOFFにして

清掃などのお手入れの際は電源をOFFにしてください。感電やけがをすることがあります。

正しい電圧で

電源は必ず指定された電圧をお使いください。指定された以外の電圧を使うと火災や漏電になるおそれがあります。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源コードを無理に引っ張らないでください。電源コードを引っ張ると、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが損傷した場合は、すぐに本製品の電源をOFFにし、新品と交換してください。また、損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的に設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。本製品を海外で使用する場合は、使用する国の仕様に準拠した電源ケーブルを準備の上、使用してください。

ほこり・湿気の多い場所に置かない

本製品をほこりの多い場所や湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。

本製品内に異物を入れない

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本製品内部に入らないように気をつけてください。感電や火災のおそれがあります。また、本製品内部に異物が入るのを防ぐため、本製品の上に物を置かないでください。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
- 本製品内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は販売店にご相談ください。

ご使用について

本製品を使用する際は次の点について注意してください。

本製品の設置に適した場所

- **室内**
  必ず屋内に設置してください。
- **安定した水平な場所**
  本製品が落下するおそれがない場所に設置してください。
- **ホコリの少ない場所**
- **熱のこもらない場所**
- **直射日光の当たらない場所**
  直射日光が当たると、本製品の外装に影響があったり、異常な動作をすることがあります。
- **環境条件を満たした場所**
  温度：0～40℃、湿度：20～80%（結露しないこと）

本製品の近くに置いてはいけないもの

- **ストーブなどの暖房機器**
  暖房機器の近くに本製品を置くと、本製品の外装に影響を及ぼすだけでなく、誤動作することがあります。
- **薬品**
  薬品によっては付着すると本製品が溶けたり、変形・変色したりすることがあります。

本製品を使うときのご注意

- ゴムやビニールなどを、本製品に長時間接触させたままにしないでください。
  本製品にビニール袋をかぶせたり、本製品の上に輪ゴムなどを置いたりしたままにしないでください。
  本製品の表面が変質する原因となります。
- 本製品のそばで飲食・喫煙しないでください。
  飲食物やタバコの灰は、故障の原因となります。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、販売店にお問い合わせください。

はじめに

このたびは、弊社の製品をお求めいただき、まことにありがとうございます。本製品をご使用になる前にこの「取扱説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、本書をいつでも参照できる場所に大切に保管してください。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

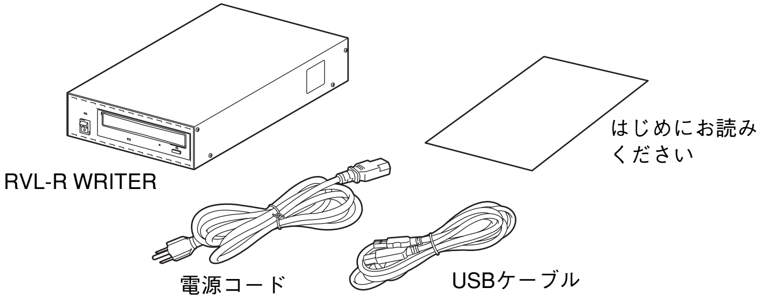
(1) 本書の内容の一部または全部を無断転写することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、販売店へご連絡ください。
(4) 弊社では本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
(6) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

© NEC Engineering, Ltd. 2006

NECエンジニアリング株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがそろっていることを確認し、それぞれの点検をしてください。万一、足りないものや損傷しているものがある場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。



重要

- 梱包材料(箱や緩衝材など)は本製品の運搬のときに必要となります。大切に保管しておいてください。
- 本製品のライティングソフトウェアは、インターネットのホームページからダウンロードできます。詳しくは、「ソフトウェアの入手とインストール/アンインストール」(12 ページ) を参照してください。
- 本製品を海外で使用する場合は、使用する国の仕様に準拠した電源ケーブルを準備の上、使用してください。
- 電源コードは本製品専用です。他の装置への転用はしないでください。

動作環境について

本装置が動作する環境は次のとおりです。

ソフトウェア＊1：
Microsoft Windows XP Home Edition operating system (Service Pack 2以降)
Microsoft Windows XP Professional operating system (Service Pack 2以降)
Microsoft Windows 2000 Professional operating system (Service Pack 4以降)
Microsoft Windows 2000 Server operating system (Service Pack 4以降)

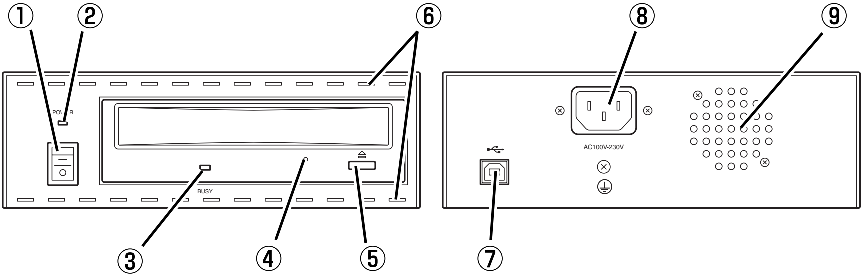
ハードウェア＊2： USB 2.0に準拠したコネクタを持つパーソナルコンピュータ

対応メディア： 専用のNR DISC・RVL-R DISC (SL)・RVL-R DISC (DL)
市販のDVD-R/RWなどのメディアでの動作は保証しません

＊1　言語は日本語または英語のいずれかです。
＊2　PCI to USB CARD を装着したコンピュータも含む（一部の製品のみ動作確認済み)。ただし、本製品の最大接続数は、カード 1 枚に対して 2 台、1 台のコンピュータに対して 8 台までを推奨。(USB ハブの使用およびカード 1 枚に対して 3 台以上接続しても動作可能です。)

各部の名称と機能

本製品のセットアップおよび運用の際に知っておいていただきたい各部の名称とそれぞれの機能について説明します。



前面　　背面

① 電源スイッチ

電源 ON/OFF 用のスイッチで、スイッチ表面の「―」を押すと電源 ON し、「○」を押すと電源 OFF する。

② 電源 LED（緑色）

電源状態の確認用 LED。

表示	状態
点灯	電源ON
消灯	電源OFF

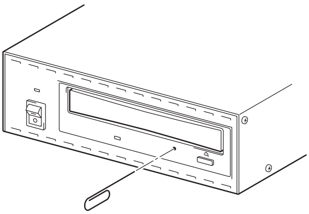
③ RVL-R アクセス LED（橙色）

アクセス状態の確認用 LED。

表示	状態
点灯	ビジー状態
消灯	レディ状態

④ エマージェンシイジェクトホール

ディスクを取り出せなくなったときに強制的にトレーをイジェクトするための穴。



⑤ オープン / クローズボタン

メディアを載せるトレーを開閉するボタン。

⑥ ファン吸気口

正面上下部にある、内部冷却用の吸気口。吸気口部はほこりなどがたまりやすいため、定期的 (3 か月に 1 度程度) に清掃を行ってください。

⑦ USB インタフェースコネクタ

USB2.0(ファンクション) に準拠した USB インタフェースコネクタ (Type-B)。付属の USB ケーブルでコンピュータと接続する。

⑧ AC インレット

アース端子付き 3 ピンの AC インレット。必ず付属の電源コードを使用してください。

本製品を海外で使用する場合は、使用する国の仕様に準拠した電源ケーブルを準備の上、使用してください。

⑨ ファン排気口

内部の熱を排出するための排気口。排気口をふさがないでください。

セットアップ

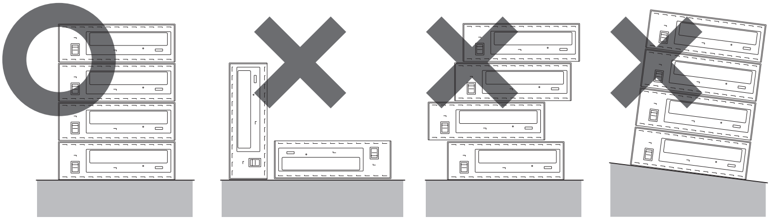
本製品をお使いになれるまでの手順を説明します。

設　置

ほこりの少ない、平らで丈夫な机の上などに本製品を設置してください。また、設置の際は本製品の背面にある冷却ファンをふさがないよう注意してください。設置場所に関する詳細な説明については、「ご使用について」（6 ページ）を参照してください。

重要

- 本製品は、最大8台積み重ねて置くことができます。
- ぶつけたり、落下したりしないように本製品をしっかりと保護してください。
- 本製品は横置き専用です。縦置きにしたり、逆さに向けて置いたりして使用しないでください。

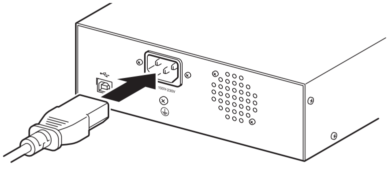


電源コードの接続

本製品に添付の電源コードを使用します。はじめに本体の電源スイッチがOFFになっていることを確認してから電源コードのプラグを本体背面のACインレットにしっかりと差し込みます。続いて電源コードのもう一方のプラグをコンセントにしっかりと差し込みます。

⚠ 警 告

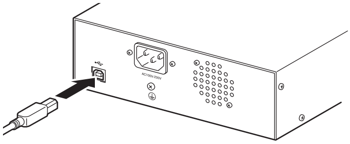
電源コードの接続および電源コードの取り扱いについては十分に注意してください。注意事項の詳細については、4ページを参照してください。記載の指示を守らないと、感電や火災の原因となるおそれがあります。



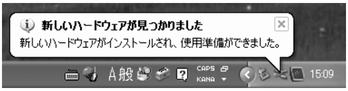
重要

アース端子付き 3 端子のコンセントに接続してください。また本製品を海外で使用する場合は、使用する国の仕様に準拠した電源ケーブルを準備のうえ、ご使用ください。

コンピュータへの接続



接続には本製品に添付のUSBケーブルを使用します。はじめに本体の電源がOFFの状態（電源LEDが消灯）であることを確認してから、USBケーブルのコネクタを背面のUSBコネクタに接続します。USBケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータのUSBコネクタへ接続します（コンピュータ側のコネクタ位置についてはコンピュータに添付の説明書を参照してください）。



本製品をはじめて接続したコンピュータの場合、本製品の電源をONにすると、ディスプレイにプラグ・アンド・プレイのメッセージが表示されます。しばらくすると本製品を使用できることを示すメッセージが表示されます。

ギャング書き込み

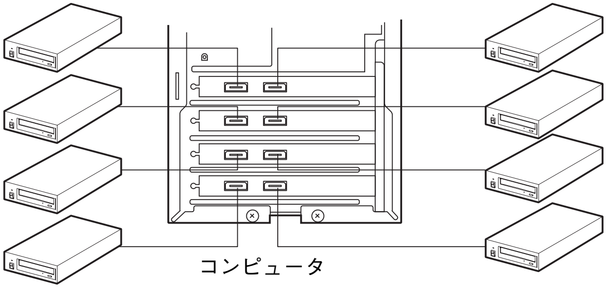
本製品は「PCI to USB CARD」を複数枚使用することにより、最大8台までのギャング書き込みができます。動作確認済みの「PCI to USB CARD」は次のインターネットホームページを参照してください。

https://ntsc.nintendo.co.jp/

また、本製品は8台まで積み重ねて設置することができます。

✔チェック

本製品を縦置きおよび逆さ置きに設置したときの動作は保証外となります。



カード1枚に対して接続台数は2台を推奨。（USBハブの使用およびカード1枚に対して3台以上接続しても動作可能です。

ライティングソフトウェアの使い方

本製品には専用のライティングソフトウェアがあります。このソフトウェアは、「動作環境について」（8 ページ）に示すオペレーティングシステムを使用したコンピュータで動作します。

チェック

- 書き込みに使用できるメディアは専用のNR DISC・RVL-R DISC (SL)・RVL-R DISC (DL)のみです。市販のDVD-R/RWなどのメディアは使用できません。
- 本ソフトウェアはハードディスクへの書き込みを指定できません。
- GUI版とCUI版がありますが、両方のソフトウェアを同時に実行しないでください。

ソフトウェアの入手とインストール/アンインストール

ソフトウェアにはグラフィカルユーザインタフェース（GUI）版とキャラクタユーザインタフェース（CUI）版の2種類があり、次のインターネットホームページからダウンロードします。

https://ntsc.nintendo.co.jp/

- GUI版：rvlwriter.exe
- CUI版：rvlwt.exe

ダウンロードした実行ファイルを任意のフォルダにコピーしてください。
ソフトウェアを削除（アンインストール）したいときは、コピーした任意のフォルダから実行ファイルを削除するか、「ゴミ箱」へ移動してください。

チェック

- ダウンロードしたファイルに「readme」などのファイルが含まれている場合は、実行ファイルを使用する前にお読みください。
- CUI版では、コマンドプロンプトでの実行時にコピー先へのコマンドサーチパスの設定が必要となることがあります。コピー先のパスを確認してください。

以降の説明ではGUI版（13ページ）とCUI版（17ページ）で分けて説明します。

GUI版

グラフィカルユーザインタフェース（GUI）版の使用方法について説明します。

起動と終了

GUI版ソフトウェア「rvlwriter.exe」を指定して実行または画面上のアイコン「RVL WRITER」をダブルクリックして起動します。
終了する場合は、ウィンドウの「閉じる ☒」ボタン、ツールバーの「Exit」をクリックします。

チェック

- 本ソフトウェアを使用するために、Administrator（管理者）グループに所属したユーザ名でログインしてください。また、起動前にその他のアプリケーションをすべて終了させておいてください。
- 書き込みやベリファイ中でも終了します。書き込み中に終了した場合、書き込み中だったメディアは使用できなくなりますので注意してください。

画面説明

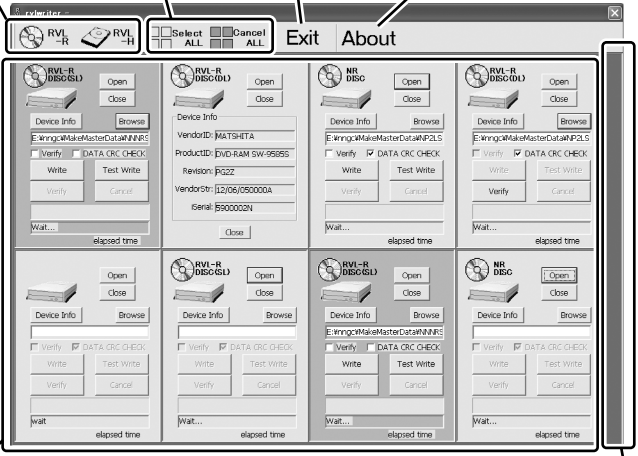
メインウインドウ

すべてのデバイスを選択／選択解除します。

本製品ではRVL-Rを選択します。

本ソフトウェアを終了します。

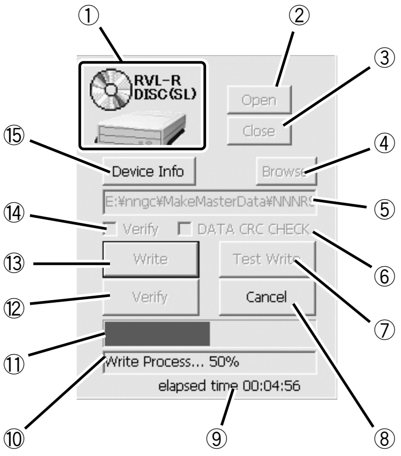
本ソフトウェアのバージョンを表示します。



各デバイス欄です（この後の「デバイス欄」を参照）。各デバイスはシリアル番号の昇順に画面左から右、画面上から下に表示されます。

8台以上接続した場合はスクロールバーが表示されます。

デバイス欄



① メディア挿入状態が画像で表されます。
NR DISCの場合：メディアと共に「NR DISC」と表示されます。
RVL-R DISC (SL)の場合：メディアと共に「RVL-R DISC (SL)」と表示されます。
RVL-R DISC (DL)の場合：メディアと共に「RVL-R DISC (DL)」と表示されます。
上記以外のメディアの場合、未挿入と同じ画像になります(扱えません)。

② RVL-R WRITERのトレーをオープンします。

③ RVL-R WRITERのトレーをクローズします。

④ 書き込むファイル（マスタデータファイル）を選択するダイアログボックスが表示されます。

⑤ 書き込みファイル（マスタデータファイル）が表示されます。

⑥ ディスクデータ部のCRCチェックを行うか指定します。チェック中にエラーが起きるとエラーの内容*1を⑩に表示されます。

⑦ テスト書き込みを行います。

⑧ 実行中の処理を中止します。

⑨ 経過時間が表示されます。

⑩ 進捗内容が表示されます。エラーが起きると、エラーの内容*2を表示します。

⑪ 進捗率が表示されます。

⑫ ベリファイを行います。

⑬ 書き込みを行います。

⑭ 書き込み時にベリファイを行うかどうか選択します。

⑮ デバイス詳細情報を表示します（この後の「デバイス詳細情報」を参照)。

---

*1　CRCチェックに関するエラーメッセージについて

Data File Error X

エラーの原因：1：マスタデータファイルのCRC エラー
2：暗号解除エラー（パスワードエラー）
3：メディアとマスタデータファイルの不一致

*2　書き込み・ベリファイに関するエラーメッセージ内のコードについて

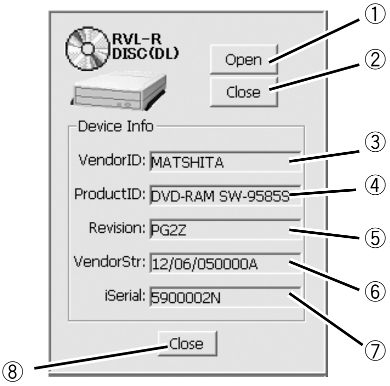
例：
Write Error (X^1 X^2 Y^1 Y^2 Y^3 Y^4 Y^5 Y^6 Y^7 Y^8)

エラー区分がデバイスの場合
Y^1 Y^2：STATUSのオフセット0バイト目
Y^3 Y^4：STATUSのオフセット2バイト目
SenseKey(ただし上位4ビットはマスクしていません)
Y^5 Y^6：STATUSのオフセット12バイト目　ASC
Y^7 Y^8：STATUSのオフセット13バイト目　ASCQ

エラー区分がDevice IOエラーの場合
GetLastError() で取得したエラーコード

エラー区分：b7　0：デバイスのエラー
b7　1：Device IO エラー
b6-b4：種別　0：メディアセンス系　1：書き込み処理　2：ベリファイ処理
b3-b0：箇所 エラー発生箇所

デバイス詳細情報



① RVL-R WRITERのトレーをオープンします。
② RVL-R WRITERのトレーをクローズします。
③ 製造元が表示されます。
④ 製品名が表示されます。
⑤ 製品のバージョンが表示されます。
⑥ 製造元が定義した任意の文字列が表示されます。
⑦ シリアル番号（8桁）が表示されます。
⑧ デバイス詳細情報を閉じます。

書き込みについて

書き込み操作は次のとおりです。

❶ **ブランクメディア（NR DISC、RVL-R DISC（SL）、またはRVL-R DISC（DL））を挿入する。**

トレーは手動で操作しても構いません。

ギャング操作を行う場合は対象のデバイスすべてに挿入します。また、ギャング書き込み対象のデバイス欄をクリック、あるいは「Select ALL」をクリックして選択します。

❷ **「Browse」ボタンをクリックしてマスタデータファイルを指定する。**

ギャング操作の場合はすべてのデバイス欄にファイル名が表示されます。

マスタデータファイルを指定すると、「Write」と「Test Write」ボタンが有効になります。

❸ **書き込み後にベリファイを実施する場合は、「Verify」のチェックボックスをチェックする。**

「Verify」のチェックは「Test Write」には関係しません。

❹ **「Write」または「Test Write」ボタンをクリックして開始します。**

ギャング操作の設定を行った場合はいずれかのデバイス欄のボタンをクリックすることで他のデバイスも開始します。

「DATA CRC CHECK」がオンの場合、データファイルのチェックが始まります。データファイルチェックの進捗表示はシリアル番号の一番小さなデバイス欄に代表して表示されます。

マスタデータファイルが暗号化されている場合、パスワードの入力ダイアログボックスが表示されますのでパスワードを入力します。

セットしたディスクのメディアタイプとマスタデータファイルが一致していない場合はここで「Data File Error」となります。

チェック

処理を中断するにはデバイス欄の「Cancel」ボタンをクリックします。

ベリファイについて

ベリファイのみを行う場合は次の手順に従います。

1 書き込み済みのメディア（NR DISC、RVL-R DISC（SL）、またはRVL-R DISC（DL））を挿入します。

トレーは手動で操作しても構いません。

ギャング操作を行う場合は対象のデバイスすべてに挿入します。また、ギャング書き込み対象のデバイス欄をクリック、あるいは「Select ALL」をクリックして選択します。

2 「Browse」ボタンをクリックしてマスタデータファイルを指定します。

ギャング操作の場合はすべてのデバイス欄にファイル名が表示されます。

マスタデータファイルを指定すると、「Verify」ボタンが有効になります。

3 「Verify」ボタンをクリックして開始します。

ギャング操作の設定を行った場合はいずれかのデバイス欄のボタンをクリックすることで他のデバイスも開始します。

「DATA CRC CHECK」がオンの場合、データファイルのチェックが始まりますが、データファイルチェックの進捗表示はシリアル番号の一番小さなデバイス欄に代表して表示されます。

マスタデータファイルが暗号化されている場合はパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力してください。

セットしたディスクのメディアタイプとマスタデータファイルが一致していない場合はここで「Data File Error」となります。

チェック

処理を中断するにはデバイス欄の「Cancel」ボタンをクリックします。

注意事項

- 「Test Write」終了後、「Verify」ボタンが有効になりますが、実際に行うとエラーが発生します。
- 「Test Write」終了後、再度書き込みを行う場合はいったんトレーをオープン、クローズしてください。再び「Write」、「Test Write」ボタンが有効になります。
- タスクトレイでの「デバイスの取り外し」を行う場合は本ソフトウェアを終了させてください。
- GUI版はすべてのRVL-R WRITERを占有しようとしますので、CUI版から操作できるRVL-R WRITERが選択できません。
  CUI版での使用可能なデバイスは、`rvlwt --list --media=rvlr`コマンドで確認することができます）。
- 経過時間はデータファイルチェック開始から書き込み終了までを積算表示しますが、この時間にはデバイスそのものの開始処理／終了処理の時間も含まれます。
- 書き込みファイルを設定した後、ギャング対象ドライブを追加しても追加したドライブの書き込みファイルは更新されません。先にギャング操作ドライブを選択してください。
- 書き込み・ベリファイ中に対象となっているマスタデータファイルを操作（移動、削除、または上書きなど）しないでください。

CUI版

キャラクタユーザーザインタフェース（CUI）版の使用方法について説明します。

起動と終了

コマンドプロンプトを開き、`rvlwt`を入力して起動します。
必要に応じて、コンピュータの任意のディレクトリにコピーした実行ファイルへのコマンドサーチパスの設定を行ってください。
終了はコマンドの終了を待つか、「ESC」キーを押すことでできます。

チェック

- 本ソフトウェアを使用するために、Administrator（管理者）グループに所属したユーザ名でログインしてください。また、起動前にその他のアプリケーションをすべて終了させておいてください。
- CTRL+Cによる強制終了は行わないでください。

引数なしで`rvlwt`を実行した場合、このソフトウェアで使用できる引数（コマンド、メディアの指定、およびパラメータ）の一覧を表示します。
引数は大文字と小文字を区別するため、必ず次項の形式とコマンド一覧の通り入力してください。

形式とコマンド一覧

形式 rvlwt コマンド メディア パラメータ …

`rvlwt`を引数なしで起動、または引数のエラーがあると引数の使用方法が表示されます。

チェック

コマンド、メディア、およびパラメータは大文字／小文字を区別します。

コマンド実行を中断(キャンセル)する場合は「ESC」キーを押します。

- コマンド
  以下のいずれか一つを指定します。
  `--write`：　書き込みを行います
  `--vwrite`：　書き込み後にベリファイも行います
  `--test`：　テスト書き込みを行います
  `--verify`：　ベリファイを行います
  `--list`：　現在使用可能なデバイスの一覧を表示します
  `--open`：　トレーのオープンを行います
  `--close`：　トレーのクローズを行います
- メディア
  「rvlr」を指定します(「=」の前後にはスペースを入れないでください)。
  `--media=rvlr`

– パラメータ
以下のいずれかを指定します(パラメータ間にはスペースを入れてください)。

`-f filename`： ファイル名指定
`filename`に書き込みまたはベリファイするファイル名を指定します。

`-p password`： パスワード指定
暗号化を解除するパスワードを指定します。
暗号化されたファイルで本パラメータが指定されていない場合は、パスワード入力のプロンプトを表示します。
暗号化されていない場合、本パラメータは無視します。

`-d serial`： デバイス指定
対象となるデバイスを指定します。RVL-R WRITERのiSerialに格納されている製造シリアル番号＊1(1-99999)を指定します。すべてのデバイスを指定するには0(ゼロ)を設定します。

`-s`： データCRC無効指定
データCRCチェックを行わない場合に指定します。
指定しない場合は、CRCチェックを行います。

以下にコマンドで使用できるオプションの一覧を示します（○:使用可、×:使用不可）。「×」となっているオプションを指定した場合、エラーとなります。

コマンド	オプション				
	--media メディア指定＊1	-f ファイル指定	-p パスワード指定＊2	-d デバイス指定＊3	-s データ CRC チェック指定
--write	○	○	○	○	○
--vwrite	○	○	○	○	○
--test	○	○	○	○	○
--verify	○	○	○	○	○
--list	○	×	×	×	×
--open	○	×	×	○	×
--close	○	×	×	○	×

＊1　必須。
＊2　暗号化されていない場合無視します。
＊3　0:ALL、1-99999:1 台のみ。

＊1　製造シリアル番号（`--list` コマンドで取得できる「iSerial 値」と同じ）は、8桁でフォーマットは以下のとおりです。

× × ×××××× ×
- 1桁目：製造年西暦末尾（0 ～ 9）
- 2桁目：製造月（1 ～ 9、X, Y, Z）
- 3～7桁目：シリアル番号（00001 ～99999）
- 8桁目：工場コード（当面は N）

戻り値一覧

値	意　味
0	正常終了
1	コマンド／パラメータエラー（引数なしの場合は正常終了「0」）
2	キャンセルにより終了
3	処理対象のデバイスがない(未接続、他で使用中など)
4	マスタデータファイルエラー
5	異常終了(すべてのデバイスを指定していた場合、いずれかが異常終了)
10	システムエラー（システムリソースの確保失敗など）

画面説明

各コマンドの実行イメージを以下に示します。

リスト表示

```
D:\>rvlwt.exe --list --media=rvlr

iSerial   VendorID  ProductID         Rev.  VendorStr
5900001N  MATSHITA  DVD-RAM SW-9585S  PG2Z  12/06/050000A
5900002N  MATSHITA  DVD-RAM SW-9585S  PG2Z  12/06/050000A
5900005N  MATSHITA  DVD-RAM SW-9585S  PG2Z  12/06/050000A

Normal End(0).
```

オープン（デバイス指定（-d）を「0（ゼロ)」ですべてのデバイスを指定している例

```
D:\>rvlwt.exe --open --media=rvlr -d 0

Normal End(0).
```

クローズ（シリアル番号‘1’のデバイスを指定している例）

```
D:\>rvlwt.exe --close --media=rvlr -d 1

Normal End(0).
```

書き込み＊1

```
D:\>rvlwt.exe --write --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT.
password:***
WRITE:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready

Data File check(01:57) : 100% OK
iSerial     %   P  elapsed    progress
5900001N (100) (W) 00:30:37 | ####################...:Done
5900002N (100) (W) 00:30:49 | ####################...:Done
5900005N (100) (W) 00:31:23 | ####################...:Done

Normal End(0).
```

- PRESS ESC KEY TO ABORT. → パスワード入力中でもCancelできる
- 5900001N～5900005N : Ready → すべてのドライブがレディになるまで次に進みません
  - NO DISC：ディスクがセットされていない
  - No Blank Medium：書き込み／テスト時、ブランクメディアではない
  - Blank medium：ベリファイ時、書き込み済みメディアではない
  - Medium Missmatch： マスタデータファイルとメディアが不一致

ベリファイ

```
D:\>rvlwt.exe --verify --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT.
password:***
VERIFY:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready
Data File check(01:58) : 100% OK
iSerial     %   P  elapsed    progress
5900001N (100) (V) 00:23:01 | ####################...:Done
5900002N (100) (V) 00:23:01 | ####################...:Done
5900005N ( 74) (V) 00:17:39 | ##############      ...:Error(23F0031000)

Abnormal Error(5).
```

- PRESS ESC KEY TO ABORT. → パスワード入力中でもCancelできる
- Error(23F0031000) → *2
- Abnormal Error(5). → いずれかのデバイスでエラーが発生したことを示す

＊1　進捗のパーセントは 1% 毎に時間と共に更新します。
「#」の更新は 5% 単位です。
「P」は、W が書き込み処理、V がベリファイ処理、T がテスト書き込みを表します。

＊2　エラーコードの詳細について

$X^1 X^2$ $Y^1 Y^2 Y^3 Y^4 Y^5 Y^6 Y^7 Y^8$

エラー区分がデバイスの場合
- $Y^1 Y^2$：STATUSのオフセット0バイト目
- $Y^3 Y^4$：STATUSのオフセット2バイト目 SenseKey(ただし上位4ビットはマスクしていません)
- $Y^5 Y^6$：STATUSのオフセット12バイト目ASC
- $Y^7 Y^8$：STATUSのオフセット13バイト目ASCQ

エラー区分がDeviceIOエラーの場合
GetLastError() で取得したエラーコード

エラー区分：
- b7　0：デバイスのエラー
- b7　1：DeviceIO エラー
- b6-b4：種別　0：メディアセンス系　1：書き込み処理　2：ベリファイ処理
- b3-b0：箇所 エラー発生箇所

書き込み後ベリファイ＊1

```
D:\>rvlwt.exe --vwrite --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT.
password:***
WRITE-VERIFY:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready
Data File check(01:57) : 100% OK
iSerial    %   P  elapsed    progress
5900001N ( 21) (W) 00:07:52 | ####                ...:Error(18F1040302)
5900002N (100) (V) 01:06:06 | ####################...:Done
5900005N (100) (V) 01:08:36 | ####################...:Done

Abnormal Error(5).
```

パスワード入力中でもCancelできる

いずれかのデバイスでエラーが発生したことを示す

テスト書き込み

```
D:\>rvlwt.exe --test --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT.
password:***
TESTING-WRITE:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready
Data File check(01:59) : 100% OK
iSerial    %   P  elapsed    progress
5900001N (100) (T) 00:29:23 | ####################...:Done
5900002N (100) (T) 00:29:29 | ####################...:Done
5900005N (100) (T) 00:29:23 | ####################...:Done

Normal End(0).
```

パスワード入力中でもCancelできる

注意事項

- Test Writeの終了後、再度書き込みを行う場合はいったんトレーをオープン、クローズしてください。
- 経過時間は、データファイルチェック開始から書き込み終了までを積算表示しますが、この時間にはデバイスそのものの開始処理／終了処理の時間も含まれます。
- ギャング操作はすべてのデバイスを対象とします（シリアル番号に「0」を指定）。
- シリアル番号の複数指定によるデバイスの複数選択はできません。
- 書き込み・ベリファイ中に対象となっているマスタデータファイルを操作（移動、削除、または上書きなど）しないでください。

＊1　表示中の「P」の欄が、「W」から「V」と変化します。

お手入れ

本製品の外装やトレーに付着したほこりや汚れは柔らかい清潔な布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。

重要

- アルコールやシンナーなどは表面を傷めるため、使用しないでください。
- 本製品の前面にあるファン吸気孔にはほこりがたまりやすいため、3か月に1回は清掃してください。

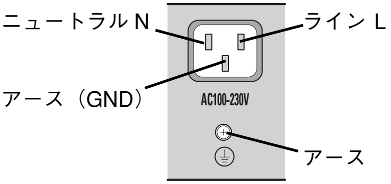
本製品のレンズは市販のレンズクリーナを使用します。清掃方法についてはレンズクリーナに付属の説明書を参照してください。

トラブルシューティング

この章では本製品の使用において起きた問題の解決方法について説明します。この章で記載の処置をしても正しく動作しないときはお買い求めの販売店までお問い合わせください。

症　状	対処方法
トレーをオープンできない	● 本製品の電源コードが正しく接続されていることを確認してください（→10ページ）。 ● 本製品の電源がONの状態（電源LEDが点灯）になっていることを確認してください（→9ページ）。 ● ソフトウェアを使用してオープンできない時は、本体正面のオープン/クローズボタンを使ってください（→9ページ）。 ● 本製品の電源をOFFにして、電源コードを抜いた後、エマージェンシイジェクトホールを使用してオープンしてください（→9ページ）。
書き込みできない「Write」と「Test Write」ボタンが無効になったままとなる	● 本製品が対応するメディアを使用してください（→8ページ）。 ● テスト書き込みをした後はいったんトレーのオープン/クローズをしてください（この操作により、「Write」と「Test Write」ボタンが有効に戻ります。 ● 本製品は専用のライティングソフトウェアを使って書き込みをします（→12ページ）。
書き込みエラーが起きる	● 本製品に適した設置場所に置いていることを確認してください（→6ページ）。 ● 本製品は横置き専用です。その他の向きにして置いたまま使用すると誤動作をするおそれがあります。 ● 本製品は8台まで重ね置きができます。それ以上は重ねて置けません。 ● ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。 ● 市販のレンズクリーナを使用してレンズを清掃してください。
ギャング書き込みに失敗する	● 本製品では最大8台のギャング書き込みを推奨します。 ● 本製品とコンピュータの接続、および接続構成を確認してください（→11ページ）。
ソフトウェアを起動できない	● 「Administrator（管理者）」グループに属したユーザでコンピュータにログインしてから使用してください。 ● 1台のコンピュータでGUI版とCUI版を同時に起動させると誤動作の原因となります。
CUI版でコマンドを受け付けない	● コマンドやパラメータは大文字と小文字を区別します。キーボードのCapsLockの状態なども併せて確認してください。 ● コマンドやパラメータの間にスペースが必要な場合や不要な場合があります。正しく入力してください（→17ページ）。 ● エラーが起きた時は戻り値にエラーコードを表示します（正常終了の場合はゼロを表示）。コードを確認してください（→19ページ）。

仕　様

項　目	仕　様
装置名称	RVL-R WRITER
インタフェース	USB2.0準拠、Type-B(ファンクション)、データレート：12/480Mbps
書込方式	CLV方式
書込時間＊1	NR DISC：約20分 RVL-R DISC（SL）：約10分 RVL-R DISC（DL）：約28分
ベリファイ時間＊1	NR DISC：約6分 RVL-R DISC（SL）：約10分 RVL-R DISC（DL）：約18分
電源仕様	AC100-230(V)　アース端子付き3P 過電流防止用ヒューズ搭載 
電源スイッチ	ロッカースイッチ
電源LED	緑色
ファン	最大風速：0.18 m^3/min　音圧レベル：28 dB[A]
対応OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system (Service Pack 2以降) Microsoft® Windows® XP Professional operating system (Service Pack 2以降) Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system (Service Pack 4以降) Microsoft® Windows® 2000 Server operating system (Service Pack 4以降)
消費電力	100W
動作環境	温度：0～40℃、湿度：20～80%（結露なきこと）
質量	3.5kg（本体のみ） 8台まで積載可能（縦置きおよび逆さ置きは禁止）
外形寸法（突起含まず）	320mm(D) x 200mm(W) x 70mm(H)
設置方向	横置き（その他の設置方向は保証できません）
対応ディスク	専用のNR・RVL-R DISC（SL）・RVL-R DISC（DL） 市販のDVD-R/RWなどのメディアは使用できません
適合規格	VCCI class B FCC Part15 Subpart B ICES-003 issue 4 class B EN55022 class B/EN55024/EN61000-3-2/EN61000-3-3 低電圧指令 73/23/EEC, 93/68/EEC EMC指令 89/336/EEC, 92/31/EEC, 93/68/EEC AS/NZS CISPR22 class B UL60950 EN60950

＊1　1 台接続（USB2.0接続）、データ CRC チェック無し

Follow the instructions in this User's Guide for your safety to use the product.

Safety Indications

English

In the User's Guide or warning labels, "WARNING" or "CAUTION" is used to indicate a degree of danger. These terms are defined as follows:

⚠ WARNING	**Indicates the presence of a hazard that may result in death or serious personal injury.**
⚠ CAUTION	**Indicates the presence of a hazard that may cause minor personal injury, including burns, or property damage.**

Precautions and notices against hazards are presented with one of the following three symbols. The individual symbols are defined as follows:

△ Attention

This symbol indicates the presence of a hazard. An image in the symbol illustrates the hazard type.

	Indicates that improper use may cause loss of eyesight due to laser beam.
	Indicates that improper use may cause fumes or fire.
	Indicates that improper use may cause an electric shock.
	Indicates that improper use may cause a personal injury.
	Indicates that improper use may cause fingers to be caught.
	Indicates that improper use may cause a burn.
	Indicates a general notice or warning that cannot be specifically identified.

⊘ Prohibited Actions

This symbol indicates prohibited actions. An image in the symbol illustrates a particular prohibited action.

	Do not disassemble, repair, or modify the product. Otherwise, an electric shock or fire may be caused.
	Do not touch the components with wet hand. Otherwise, an electric shock may be caused.
	Do not touch the specified place. Otherwise, an electric shock or burn may be caused.
	Keep water or liquid away from the product. Otherwise, an electric shock or a fire may be caused.

● Mandatory Action

This symbol indicates mandatory actions. An image in the symbol illustrates a mandatory action to avoid a particular hazard.

	Unplug the power cord of the product. Otherwise, an electric

Safety Notes

This section provides notes on using the product safely. Read this section carefully to ensure proper and safe use of the product. For symbols, see "SAFETY INDICATIONS" provided earlier.

Warning Labels

The warning label is attached to components with possible danger or their vicinity in your product to inform the user that a hazardous situation may arise when operating the product. Do not intentionally remove or damage any of the labels.
If you find any labels totally/partially removed or illegible due to damage, contact your service representative.
If any accident arises, immediately contact your service representative. Do not use the product in such a condition.

Safety Precautions

Follow the instructions described below to ensure proper and safe use of the product.

⚠ WARNING

Do not look into the drive through the opening of tray.

If your eyes are exposed to laser beam, your eyesight may be lost.

Do not disassemble, repair, or alter the product.

Do not remove the cover secured with screws. Doing so may cause an electric shock, burn, or personal injury.

Do not use the product if any smoke, odor, or noise is present.

If smoke, odor, or noise is present, immediately turn off the POWER switch and disconnect the power plug from the outlet, then contact your service representative. Using the product in such conditions may cause a fire or an electric shock.

Keep needles or metal objects away from the product.

Do not insert needles or metal objects into ventilation holes in the product. Doing so may cause an electric shock.

CAUTION

Do not touch the product and power plug with a wet hand.

Do not touch the product and power plug while your hands are wet. Doing so may cause an electric shock.

Power off the product before cleaning

Make sure to power off the product before working with the product such as cleaning. Failure to follow this instruction may cause an electric shock and/or personal injury.

Use correct voltage

Use the power supply of the specified voltage. Using the power of different voltage may cause a fire or a leakage.

Keep chemicals away from the power cord.

Do not spray chemicals such as the insecticides on power cord. Doing so may cause an electric sock or a fire.

Do not stretch the cord harness.

Do not pull the power cord forcibly. Doing so may cause an electric sock or a fire.

Do not use any damaged power cord.

If the power cord is damaged, immediately turn off the power and contact your service representative. Do not repair the damaged power cord. The portion repaired with the vinyl tape overheats, and may cause a fire or an electric shock.

Do not twist or bend the power cord.

Do not bend or twist the power cord forcibly. Do not bundle the power cord. Do not put any heavy object on the power cord. Do not pinch the power cord. Doing so may damage the power cord, and cause an electric shock or a fire.

Use the provided power cord only.

The power cord that comes with the product is designed aiming to connect with this product and to use with the product, and its safety has been tested. Do not use the provided power cord for any other devices or usage. Doing so may cause a fire or an electric shock.
If you are going to use the device outside Japan, prepare the power cord that meets the power specification of the destination country.

Do not place the product in a dusty and/or humid place.

Do not place the product in a dusty and/or humid place. Doing so may cause a fire.

Keep water or foreign matter away from the product.

Do not let any form of liquid (coffee, etc.) or foreign matter (e.g., pins or paperclips) enter the product. Doing may cause an electric shock or a fire.
Do not place any object on the product to prevent foreign matter from entering into the product.

Do not place or use the product in the place where corrosive gases exist or in the environment where the air (or dust) includes components accelerating corrosion or conductive metals.

- Do not place or use the product in the place where corrosive gases (sulfur dioxide, hydrogen sulfide, nitrogen dioxide, chlorine, ammonia, ozone, etc) exist.
- There is a risk of a fire, fume, or failure of the device due to corrosion and shorts of an internal printed board.

Consult with your service representative for the place appropriate to the product.

Notes on Use

Place the product in the following place:

- **Indoor**
  Be sure to place the product indoors.
- **Stable and level place**
  Make sure that the product may not fall down.
- **Place with less dust**
  Place where heat can be given off
- **Place where the product is not exposed to direct sunshine**
  Exposing the product to direct sunshine may cause alteration of the exterior or abnormal operation of the product.
- **Temperature**
  0 to 40°C
  Humidity
  20 to 80% (without condensation)

Keep away the product from the following.

- **Heat generating equipment such as a heater**
  Placing the product near the heater may cause alteration of the exterior or abnormal operation of the product.
- **Chemicals**
  Some chemicals may cause melting or deformation of the product.

Observe the following Notes during handling

- Do not leave rubber and the vinyl or the like touching to this product for a long time.
  Do not cover the product with the vinyl bag. Do not leave the rubber band or the like put on the product. Doing so may cause the surface of the product to change in quality.
- Keep the product away from foods, drinks, and/or cigarette smoke.
  Foods, drinks, and/or cigarette smoke may cause a failure of the device.

Preface

Thank you for purchasing the RVL-R WRITER. Before handling the product, read this guide carefully to handle it correctly. Store this guide securely for future use.

Microsoft and Windows are registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
All other product, brand, or trade names used in this publication are the trademarks or registered trademarks of their respective trademark owners.

Remarks:

(1) No part of this manual may be reproduced in any form without the prior written permission of NEC Engineering, Ltd.

(2) The contents of this manual may be revised without prior notice.

(3) All efforts have been made to ensure the accuracy of all information in this manual. If you notice any part unclear, incorrect, or omitted in this manual, contact your service representative.

(4) NEC Engineering, Ltd. assumes no liability arising from the use of this product, nor any liability for incidental or consequential damages arising from the use of this product regardless of Item (3).

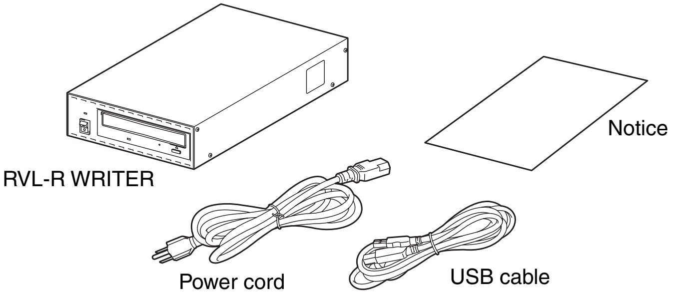
(5) This product is not intended for integration with or control of facilities or equipment that may affect human life or that require a high degree of reliability, such as medical equipment, nuclear power facilities, aerospace instruments, and transportation equipment. NEC Engineering, Ltd. does not assume any liability for accidents resulting in injury or death, or for any damages to property that may occur as a result of using this product in such facilities, equipment, or control systems.

(6) Reproducing software (entirely or partially) or distributing it without the permission of the copyright owner is a piracy.

© NEC Engineering, Ltd. 2006

Check of Components in Package

Open the package and take out the contents to make sure that you have everything and that individual components are not damaged. If you find any component missing or damaged, contact your sales agent or service representative.



IMPORTANT

- The packing materials including shipping carton and cushioning material are to be used when transporting the product. Keep them in a safe place.
- The writing software for this product can be downloaded from the Internet. See page 34 for details.
- If you are going to use the device outside Japan, prepare the power cord that meets the power specification of the destination country.
- The power cord is dedicated to this product. Do not use it for any other purpose.

Operating Environment

The device can operate in an environment as shown below.

Software*1:

Microsoft Windows XP Home Edition operating system (Service Pack 2 or later)
Microsoft Windows XP Professional operating system (Service Pack 2 or later)
Microsoft Windows 2000 Professional operating system (Service Pack 4 or later)
Microsoft Windows 2000 Server operating system (Service Pack 4 or later)

Hardware*2:

PC having a connector compliant to USB 2.0 interface

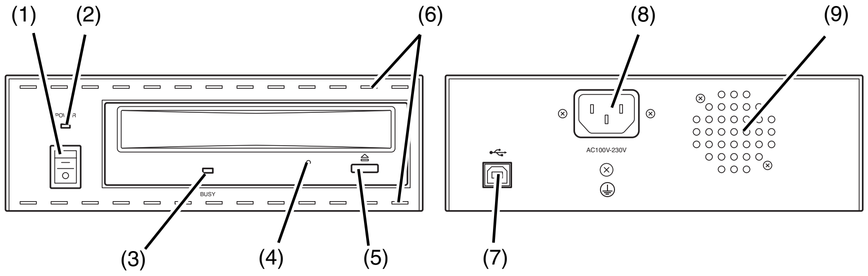
Available media:

NR DISC, RVL-R DISC (SL), or RVL-R DISC (DL)
Operation on any other device than described above is not guaranteed.

*1 Either Japanese or English edition.
*2 Includes a computer containing PCI to USB CARD. (Operation has been verified for some models only.) Connecting up to two drives per a card and eight drives per a computer are recommended. (Using the USB HUB and connecting the three or more drives per a card are available.)

Names and Features of Components

This section describes the names of component and their features.



Front

Rear

(1) POWER switch

Press "–" on the switch to turn on the power, "O" to turn off the power.

(2) POWER LED (green)

Indicates power on or off status.

LED	Status
Goes on green	Power ON
Goes off	Power OFF

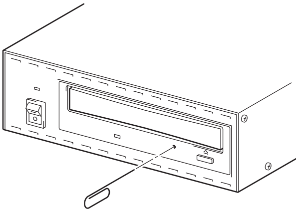
(3) RVL-R ACCESS LED (orange)

Indicates access to RVL-R.

LED	Status
Goes on orange	Busy
Goes off	Ready

(4) Emergency eject hole

Used to forcedly eject the tray when you fail to take out the disk.



(5) Open/close button

Used to eject/close the tray.

(6) Fan intake port

Fan intake port is provided on the upper and bottom front of the device. Clean the exhaust port regularly (once for three months) because the dusts may accumulate in the intake port.

(7) USB interface connector

A USB interface connector (Type-B) compliant to USB2.0 (function) is located at the rear of the unit. Use the provided USB cable to connect with PC.

(8) AC inlet

One 3-pin AC inlet with ground terminal is provided. Be sure to use the power cord that comes with the device. Connect the power cord to power receptacle.
If you are going to use the device outside Japan, prepare the power cord that meets the power specification of the destination country.

(9) Fan exhaust port

Fan exhaust port is provided on the rear of the device. Place the product so that its exhaust port is not blocked.

Setup

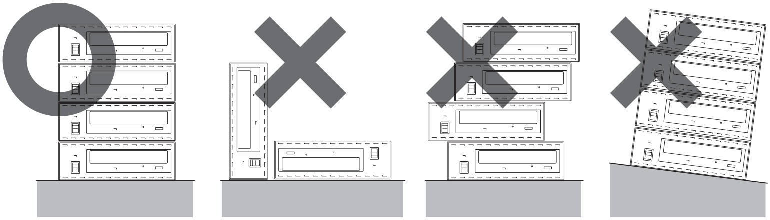
This section describes how to set up the product, on a step-by-step basis.

Installation

Place the product on a clean, flat, and rigid place (e.g., on a desk). Pay attention that the cooling fan on the rear of the product is not blocked. See "Notes on Use" on page 28 for the place appropriate to the product.

IMPORTANT

- Up to eight devices can be stacked.
- Protect the product from being bumped or dropped.
- The product must be placed horizontally. Do not place it vertically or upside down.

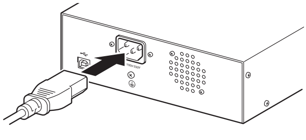


Connecting Power Cord

Use the power cord that comes with the product. Make sure that the drive is switched off, and then insert the power cord into the AC inlet on the rear of the drive. Plug the other end into a grounded three-hole AC outlet.

WARNING

Pay attention to connection and handling of the power cord. See Notes on Use on page 26. Ignoring the instruction may cause an electric shock or a fire to occur.



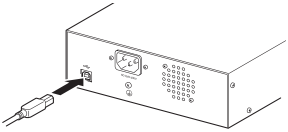
IMPORTANT

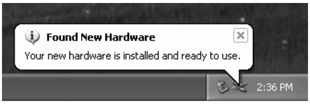
Connect the power cord to the 3-pin receptacle with ground terminal. If you are going to use the device outside Japan, prepare the power cord that meets the power specification of the destination country.

Connecting with Computer

Connect one end of USB cable that comes with the product to the USB connector on the rear panel. Connect the other end of USB cable to the USB connector on the computer. (Refer to the manual that comes with your computer for the location of USB connector.)

At the first time the product is connected to the computer, "Plug and Play" message appears on the display unit of the computer. After a while, a message appears to indicate that the product is ready to use.





Gang Writing

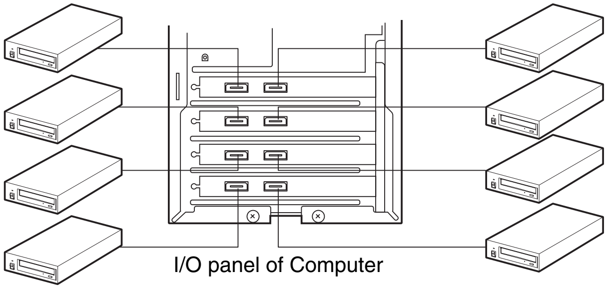
The RVL-R WRITER allows gang writing onto up to eight drives by using several PCI to USB CARD. For the recommended PCI to USB cards, refer to the following URL.

https://ntsc.nintendo.co.jp/

Up to eight devices can be installed.

✔CHECK

Note that the verified operation is not applied when the device is placed vertically or upside down.



Connecting up to two drives per a card is recommended. (Using the USB HUB and connecting the three or more drives per a card are available.)

Using Writing Software

Dedicated writing software for this product is provided. The software can run on the computer that uses an operating system listed in "Operating Environment (page 30)".

CHECK

- See "Operating Environment" on page 30 for the applicable operating system and media.
- Writing onto a hard disk drive cannot be specified by this software.
- Do not run the software of the GUI edition and the CUI edition simultaneously.

Obtaining, Installing, and Uninstalling Software

There are two types of software; GUI (Graphical User Interface) edition and CUI (Character User Interface) edition. You can download them from the following URL:

https://ntsc.nintendo.co.jp/

- GUI edition: rvlwriter.exe
- CUI edition: rvlwt.exe

Copy the downloaded execution file onto the desired folder.
To delete the software (uninstall), delete the execution file or move it to Recycle Bin.

CHECK

- If a file named "readme" or the like is contained in the downloaded file, read it before running the execution file.
- When you running CUI edition on command prompt screen, you may be prompted to specify the command search path for copy destination. Confirm the path for copy destination.

Using the GUI edition (page 35) and CUI edition (page 39) are described in the subsequent sections individually.

GUI Edition

This section describes how to use the software of GUI (Graphical User Interface) edition.

Starting and Exiting Software

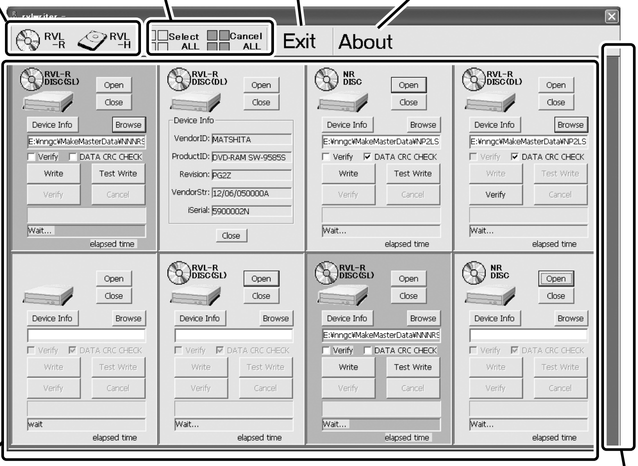
To start, run "rvlwriter.exe" or double-click it.
To exit, click the [Close (☒)] button, or select [Exit] from the toolbar.

✔CHECK

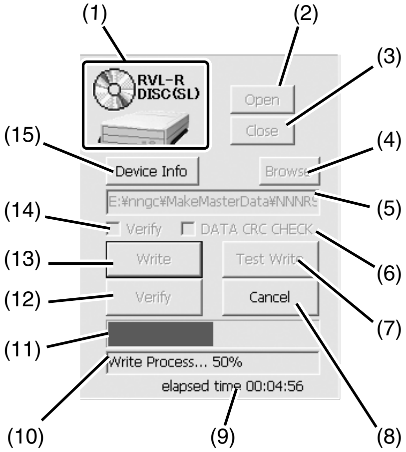
- To run this software, logon the system using the administrator account or other account which is a member of the Administrators group.
- The software exits even while writing or verify process is in progress. Note that the media being used becomes no longer available, if the software exits while in writing.

Menus

Main Window



Device subwindow



(1) Indicates a media type being inserted into the drive.
Blank is displayed when no media is inserted into the drive or other media type than NR DISC, RVL-R DISC (SL), or RLV-R DISK (DL) is inserted in the drive. No operation is acceptable.

(2) Open the tray of RVL-R WRITER.

(3) Close the tray of RVL-R WRITER.

(4) Open dialog box to select a file (master data file) for writing.

(5) Display the file name (master data file) to be written onto media.

(6) Checkbox to specify whether to execute the CRC check to the disk data section or not. If an error occurs during the CRC check, the error message*1 will appear on item (10).

(7) Execute test writing.

(8) Cancel the process being executed.

(9) Display the elapsed time.

(10) Display progress percentage. If an error occurs while processing tasks, the error message*2 will appear on item (10).

(11) Display the process being executed.

(12) Execute verify processing.

(13) Execute writing.

(14) Checkbox to specify whether to verify or not.

(15) Display detailed information of the device (described later).

---

*1 CRC check error messsage

Data File Error X

1: CRC error on master data file.
2: Decryption error (mismatched password)
3: A mismatch is found between media and master data file

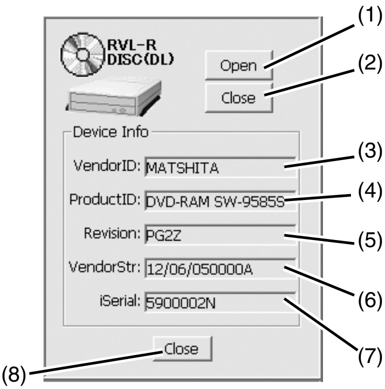
*2 Write/verify error message

Example:
Write Error (X^1 X^2 Y^1 Y^2 Y^3 Y^4 Y^5 Y^6 Y^7 Y^8)

When error classification is drive:
Y^1 Y^2: Byte 0 of STATUS offset
Y^3 Y^4: Byte 2 of STATUS offset SenseKey (Upper four bits are unmasked.)
Y^5 Y^6: Byte 12 of STATUS offset ASC
Y^7 Y^8: Byte 13 of STATUS offset ASCQ
When error classification is Device I/O error:
Error code acquired by GetLastError ()

Classification: b7 0: Device error
b7 1: Device I/O error
b6-b4: Type 0: Media sense error 1: Write error 2: Verify error
b3-b0: Error location

Device information



(1) Open the tray.
(2) Close the tray.
(3) Shows vendor ID.
(4) Shows product ID.
(5) Shows revision.
(6) Shows vendor unique string.
(7) Shows iSerial (eight digits).
(8) Close the device Info window.

Writing

Take the following steps to write onto media.

1. Insert a blank media (NR DISC, RVL-R DISC (SL), or RVL-R DISC (DL)) into the drive. You can move the tray with your hand.

For gang writing, all drives must be filled with media.

To select drives for gang writing, click the target subwindow, or click [Select ALL].

2. Click the [Browse] button to select the master data file.

The selected file name is displayed in every target subwindow when the gang writing is specified.

After selecting the master data file, the [Write] and [Test Write] buttons are enabled.

3. If you want to verify the written data, put a checkmark in [Verify] checkbox.

[Verify] is not applied to [Test Write].

4. Click the [Write] or the [Test Write] button to start writing.

When gang writing is specified, pressing the button on either device subwindow starts writing onto other devices.

When the CRC check is enabled, checking of data file starts first. The progress of data file check is indicated on the subwindow of the drive having the youngest serial number.

If the master data file is encrypted, you will be prompted to enter the password.

When a mismatch between the media type and master data file, "Data File Error" occurs.

CHECK

Click the [Cancel] button to abort the process.

Verify

Take the following steps to perform verify process only.

1. Insert a media (NR DISC, RVL-R DISC (SL), or RVL-R DISC (DL)) that contains data into the drive. You can move the tray with your hand.

For gang processing, all drives must be filled with media.

To select drives for gang processing, click the target subwindow, or click [Select ALL].

2. Click the [Browse] button to select the master data file.

The selected file name is displayed in every target subwindow when the gang processing is specified.

After selecting the master data file, the [Verify] button is enabled.

3. Click the [Verify] button to start.

When gang processing is specified, pressing the button on either device subwindow starts verifying on other devices. When the CRC check is enabled, checking of data file starts first. The progress of data file check is indicated on the subwindow of the drive having the youngest serial number.

If the master data file is encrypted, you will be prompted to enter the password.

When a mismatch between the media type and master data file, "Data File Error" occurs.

✔CHECK

Click the [Cancel] button to abort the process.

Precautions

- The [Verify] button is enabled when [Test Write] process completes. However, if you click the [Verify] button, an error will occur.
- To write onto a media again after the [Test Write] process completes, open the tray once, then close it before starting.
  The [Write] and [Test Write] buttons are enabled again.
- Exit the software before executing [Remove Device] on task tray.
- Do not run the software of the GUI edition and the CUI edition simultaneously. The GUI edition attempts to occupy all drives. Therefore, you cannot select the RVL-R WRITER that is accessible from the CUI edition. (Devices available for CUI edition can be known using `rvlwt --list --media=rvlr`.)
- The Elapsed Time box shows the accumulated time from starting of data file check to completion of writing. The time includes the time required for start and end processing of the device.
- If you have selected a file to write and then add a drive for gang processing, the file is not written onto the added drive. Be sure to select the drive first.
- Do not move, delete, or overwrite the master data file during the write/verify operation.

CUI Edition

This section describes how to use the software of CUI (Character User Interface) edition.

Starting and Exiting Software

On the command prompt screen, enter `rvlwt` to execute. If required, specify the command search path for the execution file you have copied in the directory of the computer. To exit, wait for completion of command execution, or press the Esc key.

✔CHECK

- To run this software, logon the system using the administrator account or other account which is a member of the Administrators group.
- Do not exit by using CTRL-C key.

If you execute `rvlwt` with no argument specified, the list of arguments (command, media, and parameter) available for this software is displayed.
The argument must be case sensitive. Specify the argument exactly as in the next section, "Format and Commands".

Format and Commands

rvlwt COMMAND MEDIA PARAMETER ...

The Usage is displayed if `rvlwt` is executed without parameter or with illegal parameter specified.

✔CHECK

COMMAND, MEDIA, and PARAMETER are case sensitive.

To abort (cancel) command execution, press the Esc key.

– COMMAND
  Specify one of the following.
  `--write`: Write data.
  `--vwrite`: Write data and then verify the written data.
  `--test`: Perform test writing.
  `--verify`: Verify the written data.
  `--list`: Display the list of available devices.
  `--open`: Open the tray.
  `--close`: Close the tray.
– MEDIA
  Specify as shown below. (Do not enter a space character before and after the equal sign (=).)
  `--media=rvlr`

– PARAMETER

Specify one of the following. (Delimit parameters with a space character.)

`-f filename`: Specification of file name
Specify the file name you want to write or verify in `filename`.

`-p password`: Specification of password
Specify a password to decrypt the file.
If this parameter is not specified for the encrypted file, a message to prompt password entry is displayed.
If the file is not encrypted, this parameter is ignored.

`-d serial`: Specification of device
Specify the target device. Enter the serial number *1 (1 - 99999) stored in iSerial of the RVL-R WRITER.
To specify all the devices, enter zero (0).

`-s`: Specification of data CRC
Use this parameter to ignore the data CRC check before proceeding the write/verify operation.

The table below shows options that can be specified for the command. (O: Can be specified, X: Cannot be specified)
Specifying an option indicated as "X" causes an error to occur.

Command	**Option**				
	--media*1	**-f**	**-p*2**	**-d*3**	**-s**
--write	O	O	O	O	O
--vwrite	O	O	O	O	O
--test	O	O	O	O	O
--verify	O	O	O	O	O
--list	O	X	X	X	X
--open	O	X	X	O	X
--close	O	X	X	O	X

*1 Mandatory.
*2 Ignored when the file is not encrypted.
*3 0: ALL, 1-99999: Only one device

---

*1 The product serial number consists of 8-digit character string. Its format is as shown below.
You can also obtain the serial product number by using `-- list` (iSerial value).

X X XXXXX X
- Last X: Factory code (currently "N")
- XXXXX: Serial number (00001 to 99999)
- Second X: Manufactured month (1 to 9, X, Y, or Z)
- First X: Manufactured year (Christian Era) (0 to 9)

Return Value

Value	Description
0	Normal end
1	Command/parameter error (With no argument specified, normal end "0".)
2	Terminated by Cancel command
3	Target device not found (unconnected or being used by other processing)
4	Master data file error
5	Abnormal end (When all devices are specified, one of them terminated abnormally.)
10	System error (Failed to reserve the system resource, and other failure)

Explanation of Screen

Shown below are images when each command is executed.

List display

```
D:\>rvlwt.exe --list --media=rvlr

iSerial   VendorID  ProductID         Rev.  VendorStr
5900001N  MATSHITA  DVD-RAM SW-9585S  PG2Z  12/06/050000A
5900002N  MATSHITA  DVD-RAM SW-9585S  PG2Z  12/06/050000A
5900005N  MATSHITA  DVD-RAM SW-9585S  PG2Z  12/06/050000A

Normal End(0).
```

Open (Example when all devices are specified with "0".)

```
D:\>rvlwt.exe --open --media=rvlr -d 0

Normal End(0).
```

Close (Example when the device having a serial number "1" is specified.)

```
D:\>rvlwt.exe --close --media=rvlr -d 1

Normal End(0).
```

Write*1

```
D:\>rvlwt.exe --write --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT.
password:***
WRITE:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready

Data File check(01:57) : 100% OK
iSerial     %   P  elapsed    progress
5900001N (100) (W) 00:30:37 | ####################...:Done
5900002N (100) (W) 00:30:49 | ####################...:Done
5900005N (100) (W) 00:31:23 | ####################...:Done

Normal End(0).
```

Cancel is available even while entering password.

Will not proceed to the next step until all devices become ready.
NO DISC: No disk is inserted.
No Blank Medium: For Write or Test Write, blank media must be used.
Blank medium: For Verify, the media must not be blank.
Medium Mismatch: The media disagrees the master file data.

Verify

```
D:\>rvlwt.exe --verify --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT.
password:***
VERIFY:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready
Data File check(01:58) : 100% OK
iSerial     %   P  elapsed    progress
5900001N (100) (V) 00:23:01 | ####################...:Done
5900002N (100) (V) 00:23:01 | ####################...:Done
5900005N ( 74) (V) 00:17:39 | ##############      ...:Error(23F0031000)

Abnormal Error(5).
```

Cancel is available even while entering password.

*2

An error occurred on any device.

---

*1 The progress percentage is updated every 1% along with the elapse of time.
A symbol "#" indicates the progress of 5%.
"P" denotes the following:
W: Write V: Verify T: Test

* 2 Error format

Write Error ($X^1 X^2 Y^1 Y^2 Y^3 Y^4 Y^5 Y^6 Y^7 Y^8$)

When error classification is drive:
- $Y^1 Y^2$: Byte 0 of STATUS offset
- $Y^3 Y^4$: Byte 2 of STATUS offset SenseKey (Upper four bits are unmasked.)
- $Y^5 Y^6$: Byte 12 of STATUS offset ASC
- $Y^7 Y^8$: Byte 13 of STATUS offset ASCQ

When error classification is Device I/O error:
- Error code acquired by GetLastError ()

Classification ($X^1 X^2$):
- b7 0: Drive error
- b7 1: Device I/O error
- b6-b4: Type 0: Media sense error 1: Write error 2: Verify error
- b3-b0: Error location

Verify after writing*1

```
D:\>rvlwt.exe --vwrite --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT. ◀── Cancel is available even while entering password.
password:***
WRITE-VERIFY:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready
Data File check(01:57) : 100% OK
iSerial    %   P  elapsed    progress
5900001N ( 21) (W) 00:07:52 | ####                ...:Error(18F1040302)
5900002N (100) (V) 01:06:06 | ####################...:Done
5900005N (100) (V) 01:08:36 | ####################...:Done

Abnormal Error(5). ◀── An error occurred on any device.
```

Test Write

```
D:\>rvlwt.exe --test --media=rvlr -d 0 -f SuperMario10.rvm
PRESS ESC KEY TO ABORT. ◀── Cancel is available even while entering password.
password:***
TESTING-WRITE:
iSerial  : Status
5900001N : Ready
5900002N : Ready
5900005N : Ready
Data File check(01:59) : 100% OK
iSerial    %   P  elapsed    progress
5900001N (100) (T) 00:29:23 | ####################...:Done
5900002N (100) (T) 00:29:29 | ####################...:Done
5900005N (100) (T) 00:29:23 | ####################...:Done

Normal End(0).
```

Precautions

- To write onto a media again after the [Test Write] process completes, open the tray once, then close it.
- The Elapsed Time shows the accumulated time from starting of data file check to completion of writing. The time includes the time required for start and end processing of the device.
- Gang processing is performed to all the devices. (Specify "0" for serial number.)
- You cannot select several devices by specifying several serial numbers.
- Do not move, delete, or overwrite the master data file during the write/verify operation.

*1 The indication of "P" changes from "W" to "V".

Cleaning

Wipe out stain or dust on the outside face or tray of the product with clean and soft cloth. If stains remain, rub off stains on them with the cloth soaked in neutral detergent.

IMPORTANT

- To avoid altering the material and color of the product, do not use solvents such as thinner and alcohol to clean the product.
- Dusts may accumulate in the fan intake port at the front of the product, clean the fan intake port once for three months.

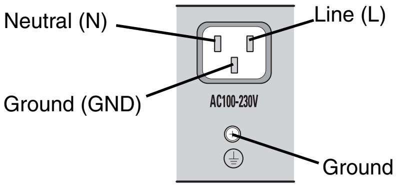
Use a commercial lens cleaner to clean the lens. Refer to the manual that comes with the lens cleaner for cleaning of lens.

Troubleshooting

This section describes solutions to problems you may encounter while using your RVL-R Writer. If the suggestions in this chapter do not solve your problem, contact your service representative for information on obtaining technical assistance.

Symptom	Recommended action
Fail to open the tray	● Make sure that the power cord for the device is connected correctly. (See page 32.) ● Make sure that the device is powered (POWER LED is on). (See page 31.) ● If the software command failed to open the tray, press the Open/Close button on the front panel. (See page 31.) ● Power off the device, unplug the power cord, and then use the emergency hole to eject the tray. (See page 31.)
Fail to write data. Both the [Write] and the [Test Write] buttons are disabled.	● Use a media applicable to the device. (See page 30.) ● After the [Test Write] process completes, open the tray once, and then close it. This enables the [Write] and [Test Write] button. ● Use the dedicated writing software. (See page 34.)
Write error occurs.	● Make sure that the device is installed in an appropriate place. (See page 28.) ● The device must be placed horizontally. Using the device being placed in any other direction may cause a malfunction. ● Maximum number of devices that can be stacked is up to eight. ● Make sure that the cable is connected securely. ● Clean the lens by using the commercial lens cleaner.
Fail to gang writing	● Recommended number of devices for successful gang writing is up to eight. ● Make sure the connection between the device and computer, and other connection configuration. (See page 33.)
Fail to start software	● Login the computer with the user belonging to Administrator group. ● Starting GUI and CUI editions simultaneously on the same computer causes a malfunction to occur.
Fail to accept the command (CUI edition)	● Commands and parameters must be case sensitive. Check CapsLock status, and enter them correctly. ● Check whether a space character is required between commands or parameters or not. Enter them correctly. (See page 39.) ● If an error occurred, an error code is shown in return value. See page 41 for details of return values. At normal end, the return value shows zero (0).

Specification

Item	Specification
Product name	RVL-R WRITER
Interface	USB2.0 support, Type-B (Function), Data rate: 12/480Mbps
Writing	CLV system
Write time*1	NR DISC: Approx. 20 minutes, RVL-R DISC (SL): Approx. 10 minutes, RVL-R DISC (DL): Approx.28 minutes
Verify time*1	NR DISC: Approx. 6 minutes, RVL-R DISC (SL): Approx. 10 minutes, RVL-R DISC (DL): Approx.18 minutes
Power	 100 to 230 VAC, 3-pole with earth terminal Overcurrent protection fuse provided.
Power switch	Mechanical locker switch
Power LED	1 (Green)
Fan	Maximum velocity: 0.18 m^3/min, Sound pressure level: 28 dB [A]
Supported OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system (Service Pack 2 or later) Microsoft® Windows® XP Professional operating system (Service Pack 2 or later) Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system (Service Pack 4 or later) Microsoft® Windows® 2000 Server operating system (Service Pack 4 or later)
Power consumption	100 W
Operating environment	Temperature: 0 to 40°C, Humidity: 20 to 80% (no condensation)
Weight	3.5 kg Up to 8 devices can be installed (Vertical or inverted installation is not allowed.)
External dimensions	320 mm (D) x 200 mm (W) x 70 mm (H)
Installation direction	Horizontal direction (Do not place it vertically or upside down.
Supported media	NR, RVL-R DISC (SL), RVL-R DISC (DL) Operation on any other media than described above is not guaranteed.
Applicable standards	VCCI class B FCC Part15 Subpart B ICES-003 issue 4 class B EN55022 class B/EN55024/EN61000-3-2/EN61000-3-3 Low voltage directive 73/23/EEC, 93/68/EEC EMC directive 89/336/EEC,92/31/EEC, 93/68/EEC AS/NZS CISPR22 class B UL60950 EN60950

*1 At one drive per a computer (with USB 2.0 connection) without data CRC check

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

適合性の宣言

製造元：NEC Engineering, Ltd. 3-18-21 Shibaura Minato-ku, Tokyo 108-0023, Japan
この機器が次の条項および基準に適合していることを保証します。

EMC Directive 89/336/EEC, Amended by 93/68/EEC
EMC: EN 55022、EN 55024、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3
低電圧条項73/23/EEC, Amended by 93/68/EEC
安全性：EN 60950: 2000

2006年4月

FCC警告

注意：この機器は、FCC規則の15条に準拠したクラスBデジタルデバイスの制限に適合していることがテストされ、確認されています。これらの制限は、家庭用に設置した場合に害のある干渉に対する妥当な保護を提供するように設計されています。この機器は、ラジオ周波数エネルギーを生成、使用、および放射します。マニュアルの指示通りに設置し、使用しなかった場合は、ラジオ通信に害を及ぼす干渉が発生する場合があります。ただし、特定の設置状況で干渉が発生しないことは保証できません。この機器の電源をオンとオフに切り替えると、オンの場合にラジオやテレビの受信に害のある干渉が発生する場合は、次の方法のいずれかを使って干渉を修正してみてください。

- 受信アンテナの向きを変える、またはアンテナの位置を変える
- 機器と受信器間の距離を離す
- 受信器が接続されているコンセントとは違うコンセントに機器を接続する
- 販売代理店やラジオ／テレビに関する知識のある技術者に相談する

カナダ国での使用について

このクラスBデジタル機器は、Canadian ICES-003に準拠しています。

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION RADIO FREQUENCY INTERFERENCE STATEMENT

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. There limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

(For Canadian Use Only)

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

NECエンジニアリング株式会社
NEC Engineering, Ltd.